

設問

[問い 1]

- (1) 一般的なキャリアとはどのようなものですか? (一般的なという言葉を確認する)
- (2) どうしてこれからのセカンドキャリアについて不安に感じているんですか?
- (3) 今後のセカンドキャリアについてどうして行き詰まるというイメージを持たれていますか?
- (4) 4又入が減るということも、上田さん自身はどのように感じられますか?
- (5) 雇用延長の場合、もし仕事内容が変わるとするならば、どのように感じますか?
- (6) おくさまに相談できない理由として、あと2年あるということがどうして聴けないうこととなるのですか?

[問い 2]

事例 I の CCt10 (相応しい・相応しくない) 良かった点

理由 (良) 会社の先輩方のセカンドキャリアについて、質問を行い、その選択を見て相談者がどのように感じたかをお聴きすることで、相談者の感情を聴くことができた。

事例 II の CCt11 (相応しい・相応しくない) 悪かった点

理由 (悪) 「今後やってみようことはあるのか」等の未来を尋ねる質問をした際に、相談者が「分からないから、相談に来ている」と拒否を受けてしまった点。

[問い 3] CC 視点の問題点

相談者の問題点は、今までのプロジェクトマネージャーをしていて何も感じていないという発言から、仕事についての価値観の理解不足がある。また、雇用延長した場合の仕事内容について人事部に確認ができていない為、仕事内容についての理解不足も考えられる。そして、定年を迎えた先輩や、人事部の方、奥様へ相談ができていないことから、コミュニケーションの不足もあると考えられる。

[問い 4] 今後の方針

定年後のキャリアについて行き詰まるのではないかと感じている相談者の感情を丁寧に傾聴し、セカンドキャリアについて冷静に考えられるように促す。そして同意が得られれば、これまでのプロジェクトマネージャーとしての経験を棚卸しする支援を通して、今後のキャリアで大切にしたい事の整理を促す。その上で、人事部の方や、奥様、定年を迎えておられるキャリアを歩んでいる先輩方へ話がしやすい理由をお聴きしながら、話をとおまうように促す。これにより、相談者が主体的にセカンドキャリアを選択できるよう支援していく。